

# 子供の不安をやわらげるためにできること

## 子供の可能性を信じる事・・・

習志野市総合教育センター

### 子供の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

インターネットに不登校新聞というホームページがあります。その中に『わが子を信じて腹をくくろう、あなたの子どもは大丈夫です』という講演録が掲載されていました。今回はその内容を少し紹介させていただきます。

#### ☆子供の『生きづらさ』とその原因・・・

・最近の小中学生のいじめの傾向として『低年齢化』が挙げられるそうです。その原因は子供が強い『生きづらさ』を感じているからではないかと考えられます。なぜ、子供が『生きづらさ』を感じるのか。それは子供の『自己肯定感の低さ』からくるのではないかと考えられます。そして、その原因は、『大人たちの不安』なのではないかと考えます。

#### ☆『大人たちの不安』とは何か・・・

・大人の不安、それは『私の子育てはこのままでいいの？正しい親という評価を受けられるの？』という不安ではないかと考えられます。そのため、周りから『正しい親』と認めてもらえるよう努力をします。そして、子供への評価を通して自己評価をします。例を挙げれば『お宅の子は〇〇高校へ行ったの？そして〇〇大学まで進学したの？やっぱり親の育て方がよかったのね』これを子供の努力である以上に『正しい親』だったからとしてしまいます。そのために親は『なるべく良い子に』『何でもできる子に』と子供にプレッシャーをかけてしまいます。それが子供の『生きづらさ』を生みます。

#### ☆将来ではなく今を大切に・・・

・大人に求められているのは、『子供を信じて腹をくくれるかどうか』です。学校へ行かないと将来困るかもしれない、ちゃんと就職できないかもしれない、これは大人の不安です。将来は見ていますが、子供の『今』を見てはいません。子供は今もっている力で生きるしかないんです。明日手に入る力で今を生きることはできません。今、子供が何を求めているか、好奇心が向いているのは何か、それを察知し子供に任せてみませんか。

あなたのお子さんは大丈夫です。そうあなたが思ってください。「大丈夫」というまなざしに包まれれば子供は自然と自分の頭で考えて動き出します。



不登校新聞ホームページ 愛知県豊田市「フリースペースたまりば」 理事長・西野博之さんの講演より

※大人は『子供がこの先の人生を幸せに過ごせるように』といつも心を砕きます。しかし、それが大人の子供の『今』を見る目を曇らせてしまうことがあるのかもしれませんが。子供の可能性を信じるためには、子供の『将来』と『今』をバランスよく見ることが大切だと感じさせられました。

お子様の心の变化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)